

産衛だより

平成 18 年度第 2 回産業医部会幹事会議事録

日 時：平成 18 年 7 月 11 日（火） 14：00～17：30

場 所：大阪丸紅本社 17 階中会議室

出席者：岩田全充, 氏家睦夫, 岡田 章, 齊藤政彦, 佐藤修二,
高木 勝, 田畑正司, 寺澤哲郎, 中屋重直, 昇淳一郎,
浜口伝博, 広瀬俊雄, 福本正勝, 松原 統, 三好裕司,
山田誠二

以上 16 名

欠席者：井上正岩, 宇土 博, 佐藤広和, 藤代一也

以上 4 名

(五十音順：敬称略)

議題：

【審議事項】

1. 産業医部会ホームページ開設について

広瀬担当幹事よりプロジェクター投影により、試案および方針が説明された。

部会体制については、産業衛生学会のホームページレベルにあわせ、幹事の名前、所属のみ掲載することで承認された。

産業医部会主催の研修会は、開催時期・タイトル・案内等を企画段階で積極的にホームページに掲載するため、研修会の情報並びに各地方会の企画等も、担当の広瀬幹事並びに事務局の双方へ提出する事とした。

一方、部会報との一部重複はやむをえないものの、部会報には各部会員の意見、開催後の報告等を主とした内容にする事で確認された。

また、部会の入部方法は最初に掲載したほうがよいとの意見があり、了承された。

なお、8月1日にはホームページ開設を予定、又更新は3ヶ月単位で更新するとの報告が広瀬幹事よりあった。

2. 第 80 回学術集会（大阪）への要望について

岡田部会長よりシンポジウム並びに教育講演の概要案について説明があった。

シンポジウム 8 題、教育講演 5 題、特別講演 1 題の予定があり、内容は現在検討中との事であった。

4月28日（土）に産業医プロフェッショナルコースを予定している旨の報告もあった。

3. 第 80 回学術集会（大阪）産業医フォーラム（第 6 回）について

3 年共通のテーマは「産業医能力資質の向上と産業医活動の伝承」となっており、今回は、「産業医・産業保健活動の評価」をテーマにするとの報告が三好担当幹事よりあった。

座長：三好幹事、山田幹事、演者：竹田先生他で、産業医の経済的活動の評価ができる方を選定する予定とした。

次回の'08（東京）では「後継者の要請（産業医の養成）」として 3 年共通テーマの最後の年としてまとめる旨、報告があった。

4. 第 17 回全国協議会（平成 19 年度関東）への要望について
リレワークショップとともに、次回幹事会で検討する事で承認された。

5. 産業技術部会との連携による研修会について

新潟の全国協議会の時に報告する事で承認された。

6. 今後の産業医部会活動について

「産業医活動をする人のために」の発刊には一定の評価が与えられるが、今後各地方会でこの本を資料にした研修会を開催してほしい旨の要望が岡田部会長からあった。

次の活動目標として、専属産業医と嘱託産業医のレベルの差についてどのような方針を医部会として挙げたらよいか岡田部会長からの提案があった。

それに対し、医部会としては P コースなどで機会とトレーニングの場をすでに提供している。また、専属産業医と嘱託産業医のスキルの差については、差があるのが当たり前であり、差がつけば事業者および嘱託産業医がそのレベルの差に気づくだろうし、その時点で研修会などに参加してレベルをあげるべきであり、そのためには嘱託産業医への情報を与えるために、各都道府県の医師会から産業医部会へ働きかけをするようにもっていくべきだとの意見が出されたが、一方、各地方会によっても医師会との連携に格差があるとの意見もあった。

医部会の方針として、医部会の外に働きかける方針なのか、医部会会員のスキルを上げるために動く方針なのか、それを決めてからでないと、どっちつかずの状態になるのではないかと意見があった。

医部会員は 1,000 人に満たないので法人化されていない以上、今はホームページなどで文字として意見を発信するしかない状態なので、1つ1つのテーマについて部会内で議論したものを外に出すことが肝心なのではないかと意見があった。

また、部会員のスキルを上げるために動くほうが、現段階ではよいとの意見もあり、それに対し、いくつか項目を挙げて、1つ1つ勉強会のようなものをしていくのがよいのではないかと意見があった。

P コースや各地方でいろいろな事はすでにやっているが、それによって、何が変わったのかと聞かれ、何も変わっていないとすれば、やり方を変えなければいけないとの意見があった。

更には、理論ではなく実地を主とするような研修会を開催することが、嘱託産業医がもっている不満に対する解消策であるとの意見も出された。

医部会に入会するメリットとして、医部会が企画する研修会については医部会員を優先する、もしくは受付期間を早くする、または、よりはやく研修会の情報をながすなど、具体的に研修会に参加しやすくする事により、随分効果がある可能性があるとの意見が出され、これは即検討することとした。

【報告事項】

1. 全国協議会の運営について

開催地：2009 年 東京地方会（決定）、2010 年 四国地方会の予定

輪番制となったため、順次、東北、北海道となる予定であり、各担当地方会の心づもりの依頼が岡田部会長よりあった。

2. 第79回学術集会産業医フォーラムについて
 今年は「産業医の能力の向上」というテーマで行い盛況であり、三好担当幹事から、次回、産業医の経済的評価についてもつなげていくとの趣旨の報告があった。
3. 産業医プロフェッショナルコースについて
 第9回(仙台)開催について浜口幹事より以下の報告があった。
- 1) 化学物質管理とマネジメントシステムのコースは今回で終了となった。
 - 2) 健康情報に関しては個人情報保護法が決まってから間があったため定員に満たなかったが、いいディスカッションができた。
- また、第10回(東京)については、来年1月開催予定で、来月詳細を決定する。
4. 第16回産業医・産業看護全国協議会(新潟)についての経過
 松原幹事より、案内小冊子が配布され、スケジュールについての説明報告があった。
- また、参加者は400名を目標にしているので、ぜひ参加を呼びかけてほしいとの依頼があった。
- リレーワークショップについて、4つの産業について8つのグループで行う。また、合同セミナーについては、技術系の方に参加してほしい旨の要請があった。
- 来年の関東に関しては、4箇所それぞれセミナーを行う旨広瀬幹事より報告があった。
5. 各研修会の経過と報告
 近畿地方会の研修会について、「産業医活動をする人のために」をテキストとして開催し、大変盛況であった事、今後もこのような研修会を行う予定である旨の報告があった。
6. その他
 各地方会における産業医部会の実態アンケート調査を、今年度も実施予定である旨の報告が岡田会長よりあった。
- 新幹事について、3月には決定したいので、2月までに各地方会長へ幹事選定の依頼をする予定であることが岡田会長より報告された。

平成18年度第1回専門医制度委員会議事録

1. 日 時：平成18年7月2日(日)11時～15時
2. 場 所：(財)労働衛生会館 会議室
3. 出席者：(五十音順)
 圓藤吟史, 大前和幸, 杉本寛治(委員長), 東 敏昭(事務局: 東 敏昭), 広瀬俊雄, 山田誠二, 大久保利晃(顧問), 森 晃爾(オブザーバー)
- 欠席者：井谷 徹
4. 議 事
- I. 報告事項
1. 指導医・専門医・研修医登録状況について(資料2006-2)
 資料に基づき、平成18年6月25日現在の登録状況が事務局より報告された。指導医252名(経過措置による指導医168名, 専門医からの指導医74名, 特別措置による指導医10名), 専門医124名, 研修登録医413名となっている。

2. 平成17年度決算、平成18年度予算について(資料2006-3)
 事務局より、資料に基づき説明があった。予算における繰越金については、本年度も支出にあてる予備費との区分を行っていることが了承された。
3. 指導医に対する研修指導状況についてのアンケート集計結果について(資料2006-4)
 事務局より、資料に基づき説明があり、年次毎の専門医試験受験者数は順次増加の傾向にあること、地域により専門医を目指す医師の分布に大きな差があること、専門医取得のメリットを明確化する必要性についての意見が紹介された。
4. 研修医に対するアンケート集計結果について(資料2006-5)
 事務局より、資料に基づき説明があり、アンケート対象者391名中170名から回答があり、114名が3年以内に受験の意思をもつこと、一方、7名が研修継続の意思がないことが紹介された。
5. 平成18年度 専門医資格認定試験方法について
 平成18年度(第14回)専門医資格認定試験方法について、試験問題の作成状況、試験実施方法について、口頭試験部会長から検討結果が報告され、平成15年度からの改訂どおり引き続き本年も口頭試問(A-1)を60分(平成14年度まで90分)に短縮し、その中で10分程度の自己紹介を行うこと、グループ討議(B-1)は昨年同様120分(平成14年度まで90分)とするとの報告があった。また今後、コンピューター(パワーポイント)を使用した発表方法が可能かどうかの検討を踏っていきたいとの報告があった。なお、筆記試験については部会長欠席のため、事務局より例年どおりであるとの報告がなされた。
6. 日本専門医認定機構について(平成18年5月29日第7回社員総会)
 大前理事より資料に基づき、1)現在進められている機構の組織規定の議論、2)機構の会員学会の専門医制度であることを表示できるメリット等について説明があった。

II. 審議事項

1. 指導医資格更新の可否について
- (1)「経過措置による指導医」第6期(No.323-340)の2回目更新(資料2006-6)
 標記対象者16名のうち、申請のあった9名について審議した。指導医継続申請者7名の資格が承認された。専門医として申請があった2名のうち、1名の資格が認められ、もう1名については、1年間の暫定期間中に更新条件を満たすことで更新が承認された。なお未申請者については意向を確認し、提出期限7月14日までに提出されてきた申請書類を、委員長が基準に基づいて判断することとした。
- (2)「専門医から指導医」第4期(No.1030-1036)の1回目更新(資料2006-7)
 標記対象者7名のうち、指導医として継続申請のあった2名、専門医への移行申請があった1名について審査した結果、それぞれ資格ありとされた。なお、未申請者については、申請の意向を確認し、提出期限7月14日までに提出されてきた申請書類を、委員長が基準に基づいて判断することとした。

2. 専門医資格更新の可否について

- (1) 第4期 (No.46, 50, 52) の2回目更新 (専門医継続または指導医申請) (資料2006-8)

標記対象者3名 (退会1名) のうち, 専門医として継続申請のあった2名の資格更新が認められた。

- (2) 「専門医資格更新」ならびに「専門医から指導医資格」の可否について

第9回専門医 (No.107-127) (資料2006-9)

標記対象者21名のうち, 専門医として継続申請があった1名について資格更新が認められた。ならびに, 専門医から指導医資格への申請があった15名の指導医資格が承認された。なお, 未申請者については申請の意向を確認し, 提出期限7月14日までに提出されてきた申請書類を, 委員長が基準に基づいて判断することとした。

3. 平成18年度専門医試験受験資格の認定について (資料2006-10)

平成18年8月26, 27日に実施予定の第14回専門医資格認定試験の受験申請者29名の受験資格が研修手帳等の関係申請書類に基づき審査され, 全員が資格ありと認められた。

4. 平成18年度専門医試験実施細目および実施体制について (資料2006-11, 12, 13, 14, 15)

第14回専門医試験を平成18年8月26, 27日, (財)労働衛生会館で実施すること, 試験方法の細目について, 口頭試験部会長および事務局より提案があり, 試験の実施時間, 運営, 試験委員の編成, 受験者の班 (5班) 編成, 受験案内文が原案どおり決定された。

また, 本年は5班編成となるため, 大久保利晃顧問, 吉田勉 (前口答試験部会員) に, 平成18年度専門医資格認定試験委員を委嘱することが承認された。

5. 第16回産業医・産業看護全国協議会 (新潟) における専門医認定証授与式について (資料2006-16)

平成18年9月23日, 新潟コンベンションセンター朱鷺メッセで開催される第16回産業医・産業看護全国協議会 (松原統企画運営委員長) の総会において, 清水理事長より第14回専門医試験合格者に専門医認定証が授与されることが承認された。

6. 専門医制度倫理規定について (資料2006-17)

専門医認定機構の基準に照らし, 本学会専門医制度規定にない, 専門医の倫理規定と罰則規定の整備に必要な事項について意見交換を行い, 事務局で素案を用意することとした。

7. 産衛学会専門医制度のこれからの方向性について (資料2006-18)

指導医, 専門医, 研修医など会員からのアンケートに基づき, 標榜可能な専門医制度とするため外形基準 (医師数1,000名以上, 会員のうち, 医師の占める割合が90%以上) を満たすための独立した法人を設置するためのたたき台を準備し, これに基づき検討を行った。次回の委員会での継続審議ならびに理事会への検討状況報告を行うこととした。

8. 次回委員会開催日程について

次回委員会は本年度の資格認定試験実施後, 平成18年8月27日15:40~17:00, (財)労働衛生会館で開催されることとなった。

平成18年度新入会者

[北海道] 南トメ子, 吉野昌子 [岩手] 藤澤陸子 [宮城] 安齊由貴子, 小野寺美佐子, 小関健由, 酒井太一, 佐々木久美子, 佐藤憲子, 高野英恵, 中村 修, 横尾美智子 [山形] 長尾幸男 [茨城] 高田伸一, 山本國子 [群馬] 松井亜樹 [埼玉] 秋澤幸子, 中川一美, 野寺 誠, 水谷元雄 [千葉] 青木理絵, 大島晃, 福島葉月, 山下剛司 [東京] 秋山美紀, 飯泉恭一, 大谷真, 小野道子, 郡 和宏, 嶋田純子, 下大園久義, 杉田友紀, 鈴木国興, 竹田桂子, 田邊花江, 寺井美佐栄, 深沢拓方, 松木美那子, 真船恵里, 間山一枝, 三野素子, 村田聖子, 山崎明美 [神奈川] 飯田裕貴子, 岩崎正之, 山下真由美 [新潟] 東 智子, 岩本靖彦, 小林由里, 小路恵子, 吉田和裕 [富山] 中林美奈子 [石川] 龍口さだ子 [長野] 飯塚康彦 [愛知] 今泉 修, 小田桐典秀, 栗田秀男, 佐藤理之, 丹下智香子 [京都] 村田理絵 [大阪] 江口優子, 大庭美津子, 大山寿美, 長田京子, 田中範子, 田中洋子, 伴野佐知子 [兵庫] 藤原 彩 [奈良] 中嶋敏勝 [和歌山] 安田祐子 [愛媛] 岡村法宜 [福岡] 宇都宮真紀, 浦本秀隆, 岡本隆史, 木村美子, 柳由紀子, 山田晋平, 山野智子